

学内教員からのメッセージ

ついに本学大学院に MPH コースが開設されます。青森県は健康上の課題が多く、むしろそこに豊富な研究フィールドが広がっています。例えば、私の研究テーマの一つに「子どもの肥満」があります。青森県としても大きな課題の一つです。そして非常に複雑な問題でもあります。そもそも成長過程で肥満度をどう測定するか、どうして肥満になるのか、親子間の対話はどうか、社会経済状況とどう関係しているのか、肥満であることによってどんな問題が起こるのか…そこには網目状に複雑に入り組んだ課題があります。そこに入り込み、一つ一つも解いていくことによって、さらに魅了される研究世界が見えてきます。それらの課題の解決は世界で同じように起こっている地域の課題解決につながる糸口になるのでは、と思っています。そして、これらすべての課題は MPH コースの俎上にあります。さあ、この丸ごとフィールドの青森で、魅力的な MPH コースと一緒に体験してみませんか。



古川 照美

保健・医療・福祉政策システム
領域 地域保健研究室 教授

MPH コース 担当教員からのメッセージ

疫学は、疾病を個人としてではなく、集団として捉える学問です。そして健康と疾病に与える要因を解析し、予防医学へと応用したり、公衆衛生施策に反映させたりすることが期待されています。現在直面している COVID-19 に対しては、日本の疫学専門家が、調査から得られたエビデンスを基に“3つの密”が感染リスクであることをいち早く世界に発信しました。またエアロゾル感染という新たな感染経路やウイルス株による潜伏期間や感染可能期間の違いなどを解明してきました。この疫学を青森県立保健大学の「MPH コース」で本格的に学ぶことができます。さあ、皆さんと一緒に感染症危機管理の在り方を考えていきましょう。



加來 浩器

防衛医科大学校
防衛医学研究センター
広域感染症疫学・制御研究部門
教授

本コースの特徴

01 MPH コア5領域（疫学、生物統計学、保健政策・医療管理学、環境産業保健学、社会行動科学）に基づき、基礎的な公衆衛生学をベースにさまざまな分野の専門知識を多角的に修得できます。

02 豊かな自然に育まれた青森県を丸ごとフィールドに、「地域の健康課題」と向き合いながら研究を進めていき、具体的な解決に向けた提言を行う力を身につけていくことができます。

進学をお考えの方へ

出願資格

詳細は大学院ホームページ内の「募集要項」をご参照ください。
保健・医療・福祉分野に従事している、または関心を持っている実務経験者や大学新卒者等、多くの皆様を歓迎します。

入学定員

若干名

取得学位

修士（公衆衛生学）[Master of Public Health]

修業年限

2年（3年の長期在学コースあり）

進路

修了後は、公衆衛生実務の指導的立場で貢献するエキスパートとして活躍することができます。

その他

皆様がより学びやすい環境を構築しています。
● 授業は土日、夜間、夏期に集中して開講し、働きながら学べる環境に配慮しています。
● 教室とオンラインの併用等での遠隔授業を積極的に取り入れています。

青森県立保健大学大学院健康科学研究科
健康科学専攻博士前期課程に

新しく「MPH コース」が

開設されます！

MPH : Master of Public Health

青森県の健康を丸ごと探求し、
世界に還元する人材を育成する

公立大学法人
青森県立保健大学
Aomori University of Health and Welfare

教務学生課（大学院担当）
〒030-8505 青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1

大学院 URL <https://www.auhw.ac.jp/daigakuin/>

本コースについて詳しく聞くことができる「オープンキャンパス」「大学院進学相談会」等イベントの開催スケジュールはこちらからご確認ください。



TEL : 017-765-2008
e-mail : daigakuin@auhw.ac.jp

2023年4月
開設予定

青森県立保健大学大学院

ごあいさつ

青森県立保健大学大学院に令和5（2023）年4月から公衆衛生学の「MPH コース」を開設することとなりました。

青森県では地域住民の健康寿命の延伸や生活の質の向上、感染症等の健康危機管理、公衆衛生の人材の不足など公衆衛生上の問題が山積しており、短期的にも中長期的にも人材の育成を図っていく必要があります。本学も学部教育・大学院教育を通じて、地域の公衆衛生活動の中核を担う人材育成をこれまで進めて参りましたが、上記の現状に鑑み、県立大学としての社会的な役割を一層果たすべく、令和2年度からの「中期計画」において、当コースの開設を最重点課題の一つとして掲げ準備を進めてまいりましたが、この度開設の運びとなりました。

コース開設にあたっては、専門職はもちろん、一般事務職の方々にも広く門戸を開き、多様な公衆衛生の人材育成を図っていきたくと考えております。そして、「青森」という特徴ある地域性を実践的なモデルとして教育と研究を進めることで、青森県、日本、世界で汎用性のある実務・教育・研究上の諸課題に取り組める人材の育成を目指します。

今後とも本学への一層のご理解ご支援をお願い申し上げます。



令和4年4月
大西基喜

青森県立保健大学大学院健康科学研究科
保健・医療・福祉政策システム領域公衆衛生研究室 特任教授



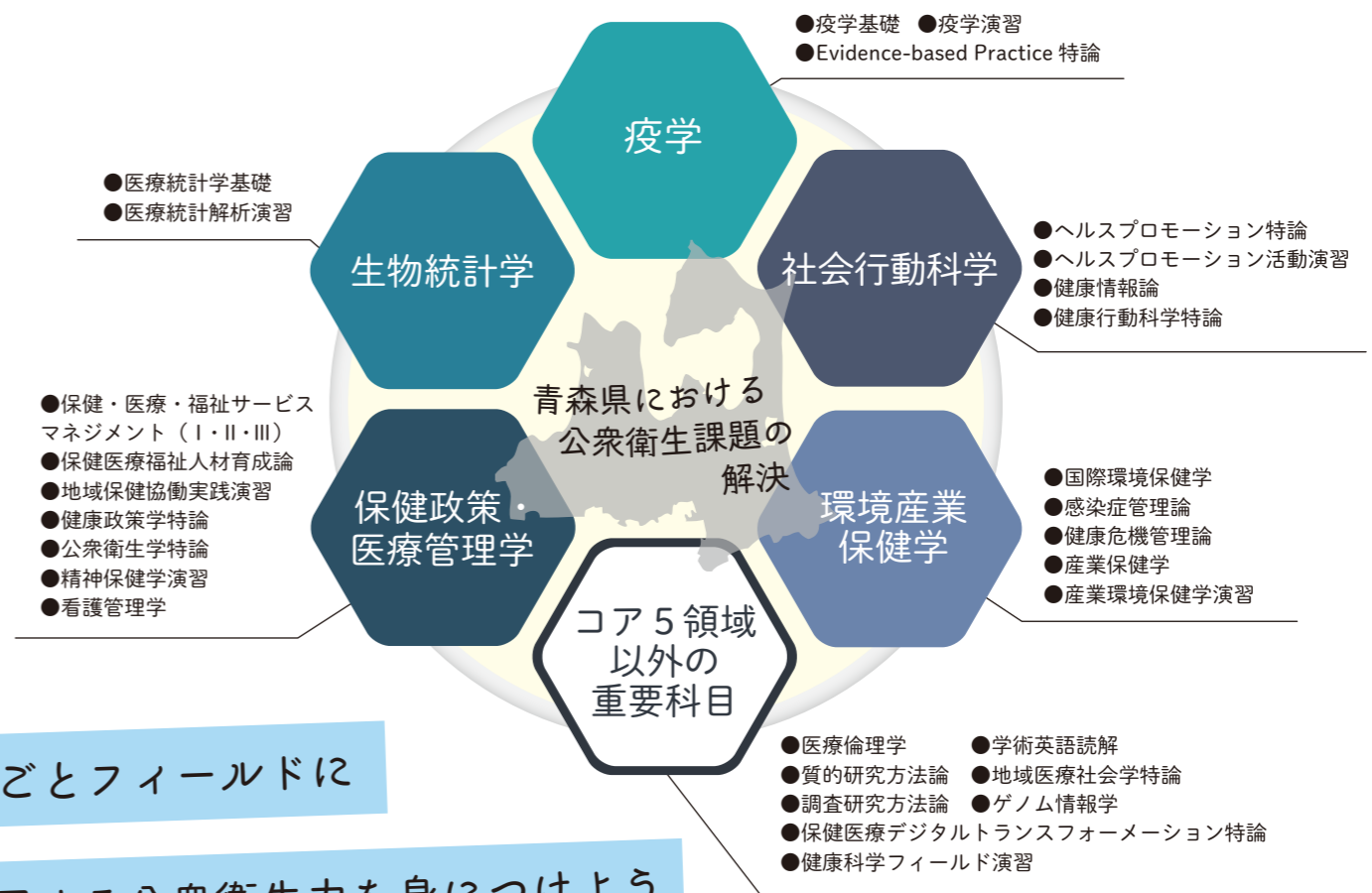
自然も食も
魅力たっぷり！

公衆衛生学とは

公衆衛生学は人々の健康を守り促進することを図る科学であり、また実践的な技術です。公衆衛生学の対象は医療・保健・福祉領域のほぼすべてにわたりますが、臨床医学が個人々の健康/疾病を対象としているのに対し、公衆衛生学は基本的に人の集団を対象としている点が特徴的です。公衆衛生上の課題は地域の健康・ケアから、地球規模の環境問題や感染症パンデミックまで極めて広範にわたっており、現在こうした課題は次第に重要性を増しています。従って、それらの課題解決は地域にとっても、地球規模でも必須となっており、広い視点を持って取り組める公衆衛生の人材を育成することが急務となっています。

コア5領域の概要

- 疫学 生物統計学**
 疫学と生物統計学の2領域はコア5領域中、最も基礎的なコアとなる学問です。事象を数的に取り扱う方法論を提供し、あらゆる量的研究の基礎となるものです。これによって、健康関連の諸事象のあり様、影響因子を明確化し、有効な対策立案の基礎事項を得るとともに、その評価も行えます。
- 保健政策・医療管理学**
 主に地域の保健・医療・福祉のサービスについて制度や理論を理解した上で、各分野の諸課題をさまざまな指標に基づいて、種々の観点から科学的に把握・理解し、根拠に基づく政策を立案できることを目指します。また保健医療福祉の協働、その人材の教育・育成という課題についても多角的に分析、理解します。
- 環境産業保健学**
 この領域は国際環境保健、危機管理論、産業保健を包含します。グローバルヘルスの観点から、地球環境が人の健康に及ぼす影響を学修し、世界の健康問題の現状と諸要因を理解します。また、感染症の危機管理をはじめ、薬害、医療事故等の危機管理も体得し、実践力を身につけます。産業保健においては、現状、職域における身体的・心理的課題がますます重要となっており、制度、現場の管理、さらに働き方や健康経営を含め幅広く理解します。
- 社会行動科学**
 ヘルスプロモーションについての理論・実践に関する学問が中心になります。社会・経済・文化等外的要因が、人々の健康や健康行動に与える影響について、メカニズムを含め理解します。また、科学的根拠にもとづくヘルスコミュニケーションについて理解し、効果的に実践できることを目指します。人や集団への学びに基づいて、多様性の理解、関係者との情報共有、協働、多職種連携について学習し、実践します。
- コア5領域以外について**
 基礎的な医療倫理学や研究方法論に加え、先進的なICTを活用した医療イノベーション分野やゲノム情報学も学びます。また、青森県の地域性に依拠した地域医療、地域包括ケアや地域共生社会についても理解を深めます。



青森県を丸ごとフィールドに
世界で通用する公衆衛生力を身につけよう